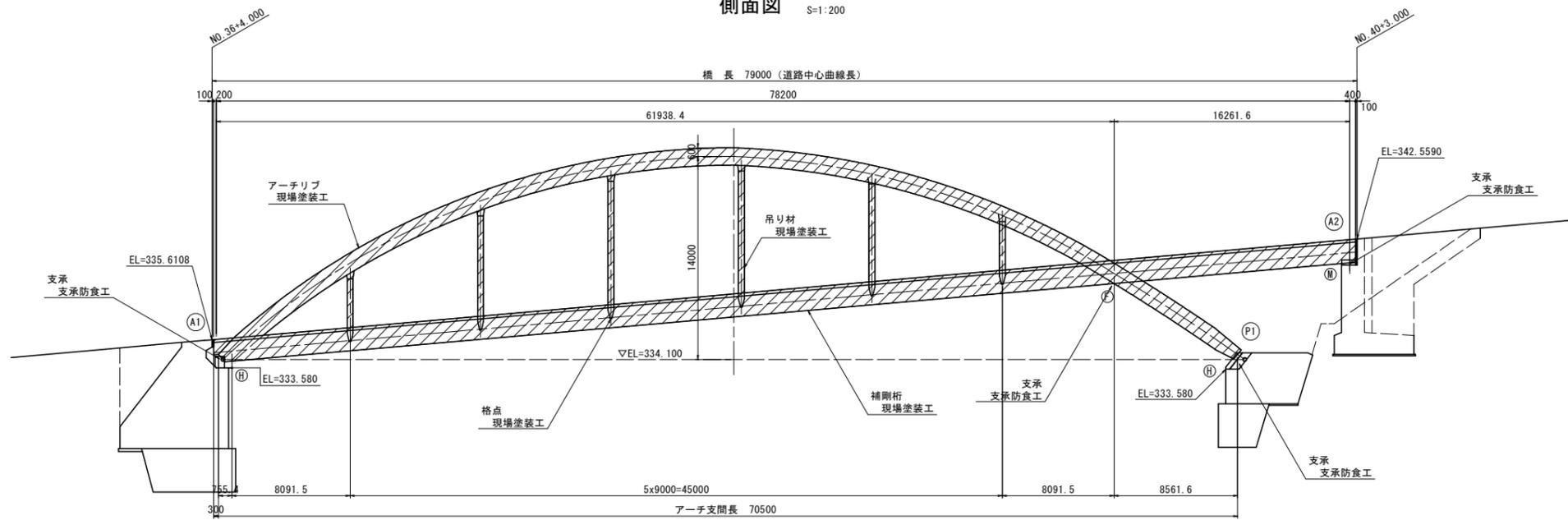
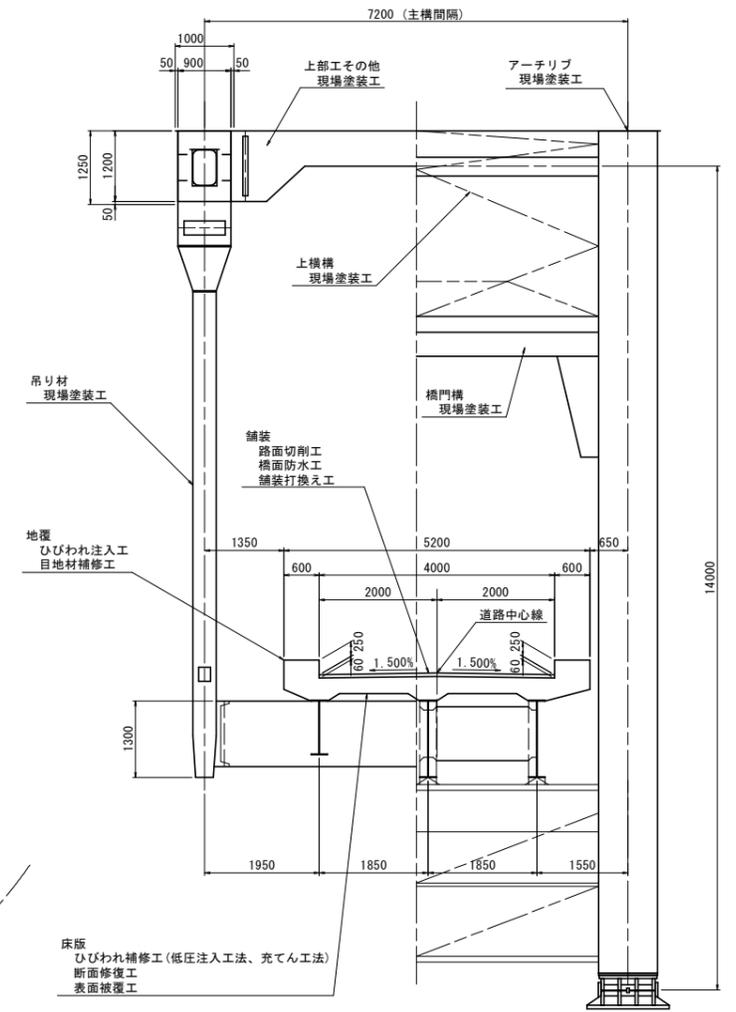


# 補修一般図

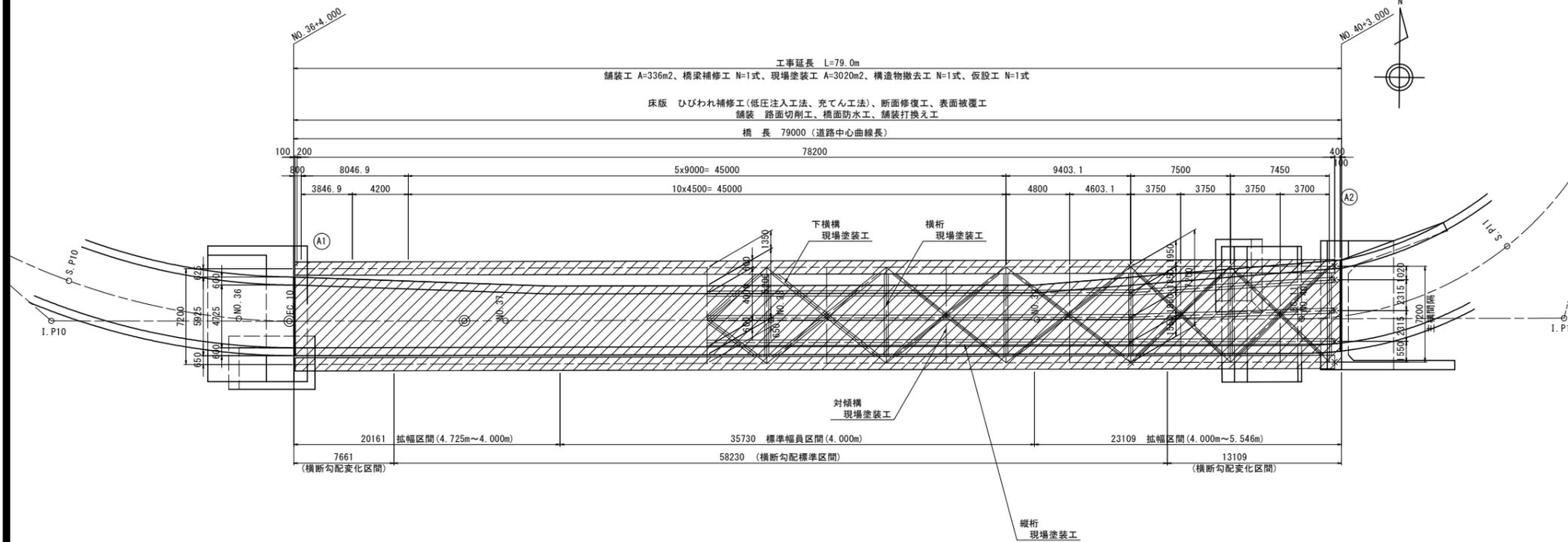
側面図 S=1:200



主構造断面図 S=1:60  
(標準幅員区間)



平面図 S=1:200



補修一覧表

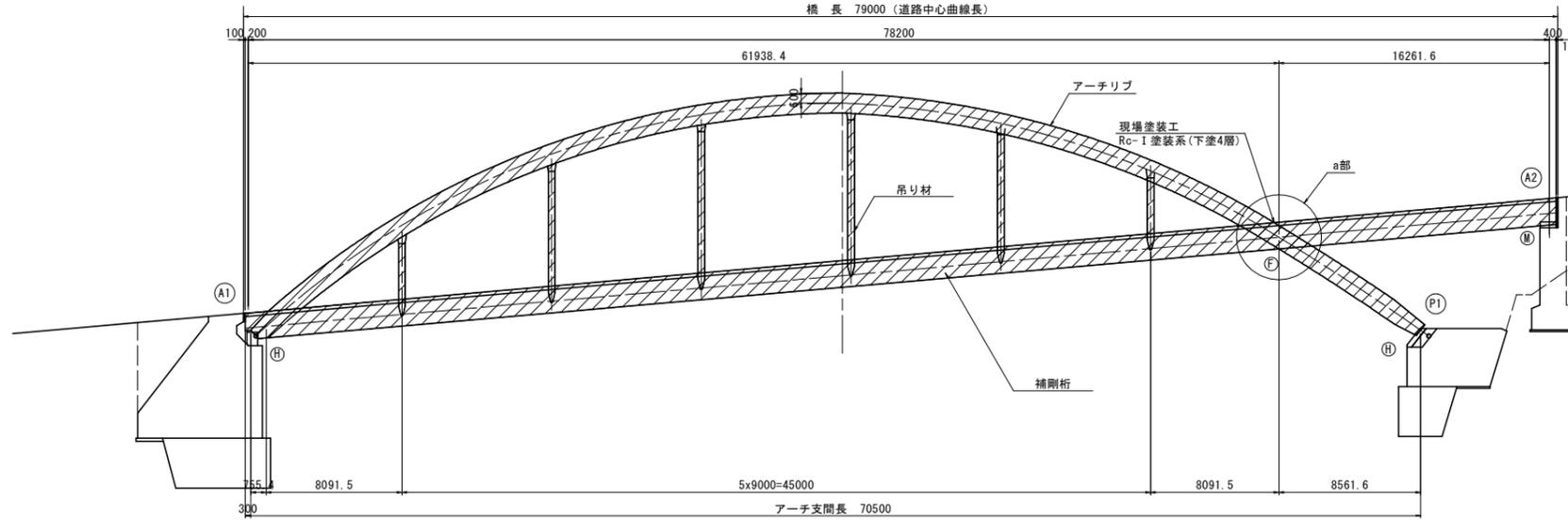
対象部材	補修内容	対象部材	補修内容	対象部材	補修内容
横桁	現場塗装工	アーチリブ	現場塗装工	上部工その他	現場塗装工
縦桁	現場塗装工	補剛桁	現場塗装工	床版	ひびわれ補修工(低圧注入工法、充てん工法)、断面修復工、表面被覆工
対傾構	現場塗装工	吊り材	現場塗装工	支承	支承防食工
上横構	現場塗装工	橋門構	現場塗装工	地覆	ひびわれ補修工(低圧注入工法)、目地材補修工
下横構	現場塗装工	格点	現場塗装工	舗装	路面切削工、橋面防水工、舗装打換え工

凡例  
 : 本工事施工箇所

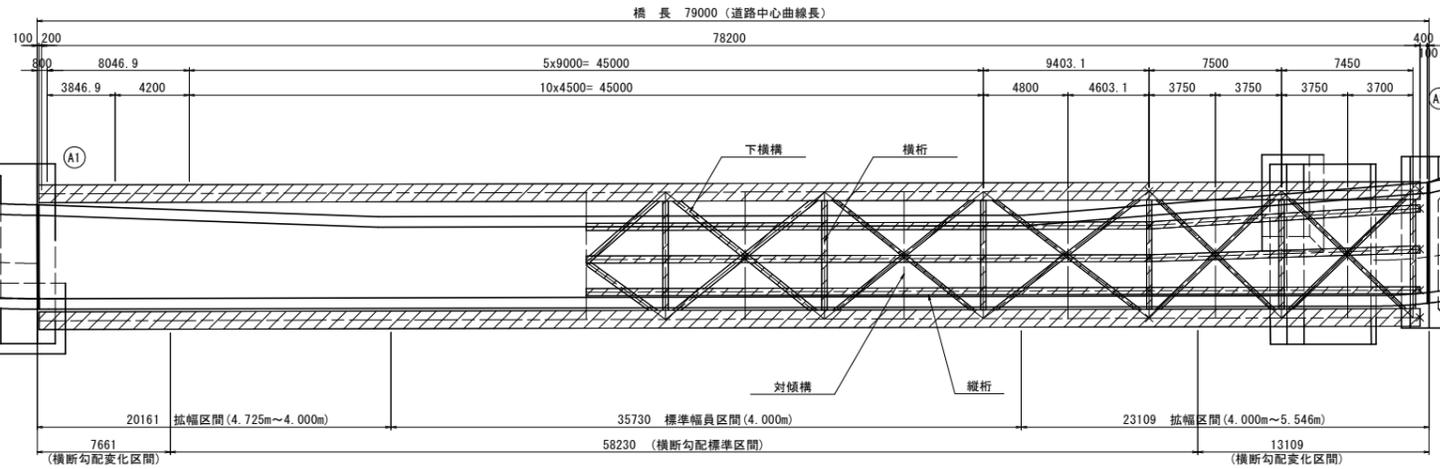
工事名	京都市東部山間埋立処分地橋梁補修工事 (管理道路4号橋)		
工事場所	京都市伏見区醍醐陀羅谷1番104他地内		
図面名	補修一般図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	1 / 14
京都市環境政策局埋立事業管理事務所			

# 現場塗装工

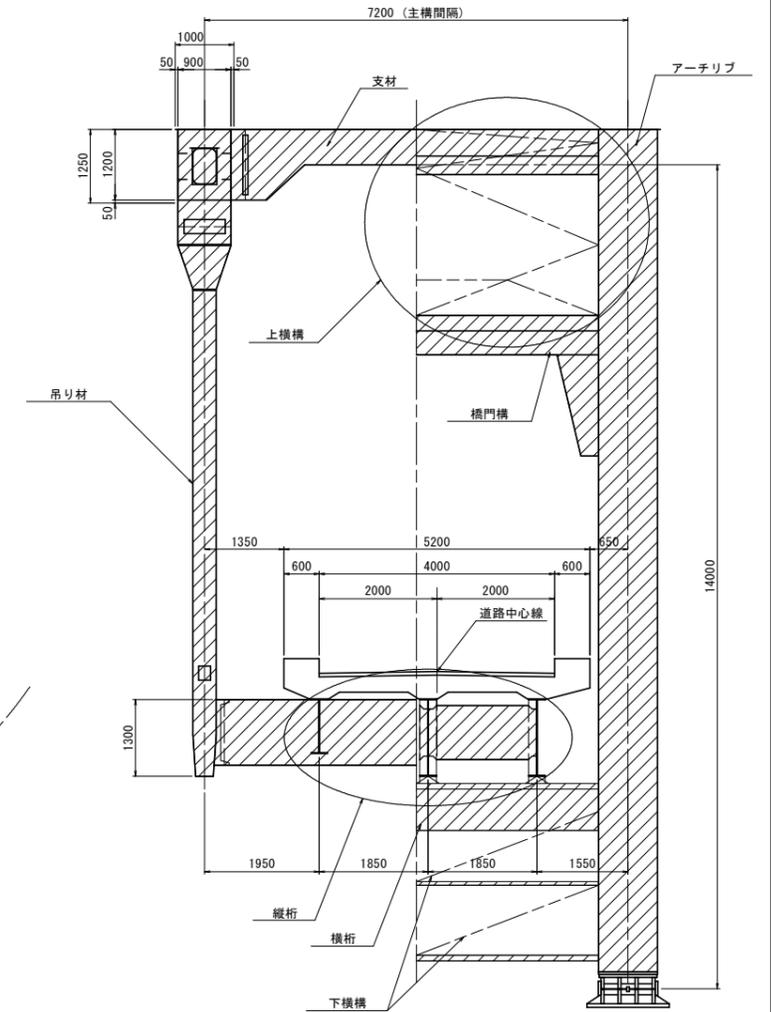
側面図 S=1:200



平面図 S=1:200



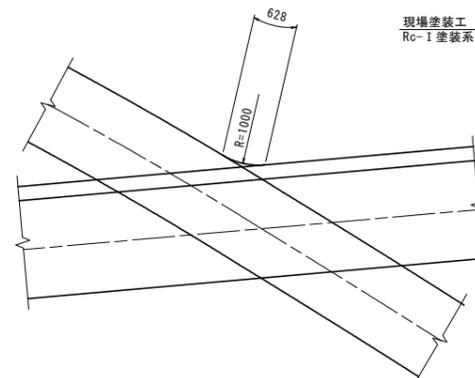
主構造断面図 S=1:60  
(標準幅員区間)



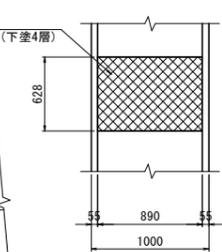
a部詳細図

(アーチリブ補剛桁接続部)

側面図 S=1:50

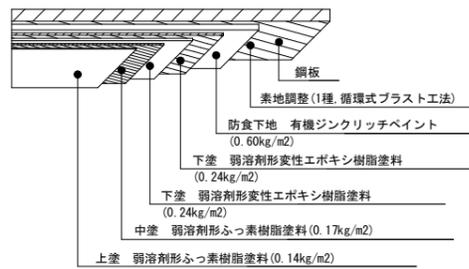


正面図 S=1:30



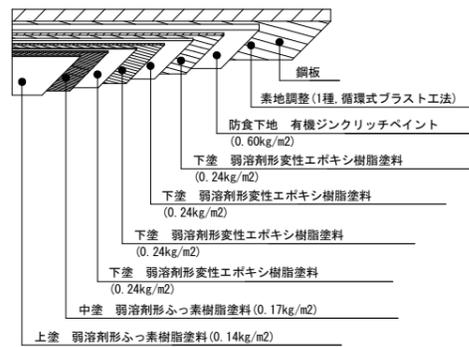
## 塗装要領図及び塗装仕様

### Rc-I 塗装系 (下塗2層)



## 塗装要領図及び塗装仕様

### Rc-I 塗装系 (下塗4層)



現場塗装工 Rc-I 塗装系 (下塗2層) 数量集計表

	塗装面積 (m <sup>2</sup> )	ケレン面積 (m <sup>2</sup> )	備考
縦桁	653.69	653.69	
横桁	314.37	314.37	対傾構含む
補剛桁	719.84	719.84	
横構	145.68	145.68	上横構、下横構
アーチリブ	841.66	841.66	
吊り材	166.86	166.86	
支材橋門	93.26	93.26	支材、橋門構
アーチ横構	83.62	83.62	
合計	3018.98	3018.98	

1. 施工時、現地確認の上、詳細寸法を決定すること。

現場塗装工 Rc-I 塗装系 (下塗4層 ※下塗2層追加) 数量集計表

	塗装面積 (m <sup>2</sup> )	ケレン面積 (m <sup>2</sup> )	備考
アーチリブ補剛桁接続部	0.56	-	上流側
	0.56	-	下流側
合計	1.12	-	

1. 施工時、現地確認の上、詳細寸法を決定すること。  
2. 下塗4層のケレン面積は下塗2層の補剛桁、アーチリブに含まれるため計上していない。

### Rc-I 塗装系 (下塗2層) (スプレー)

塗装工程	仕 様	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗膜厚	塗装間隔
1	素地調整 1種, (循環式プラスト工法)			4時間以内
2	防食下地 有機ジンクリッチペイント	0.60kg/m <sup>2</sup>	75 μm	1日~10日
3	下塗 弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.24kg/m <sup>2</sup>	60 μm	1日~10日
4	下塗 弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.24kg/m <sup>2</sup>	60 μm	1日~10日
5	中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	0.17kg/m <sup>2</sup>	30 μm	1日~10日
6	上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗	0.14kg/m <sup>2</sup>	25 μm	1日~10日

鋼道路橋防食便覧 P.11-118

### Rc-I 塗装系 (下塗4層) (スプレー)

塗装工程	仕 様	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗膜厚	塗装間隔
1	素地調整 1種, (循環式プラスト工法)			4時間以内
2	防食下地 有機ジンクリッチペイント	0.60kg/m <sup>2</sup>	75 μm	1日~10日
3	下塗 弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.24kg/m <sup>2</sup>	60 μm	1日~10日
4	下塗 弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.24kg/m <sup>2</sup>	60 μm	1日~10日
5	下塗 弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.24kg/m <sup>2</sup>	60 μm	1日~10日
6	下塗 弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.24kg/m <sup>2</sup>	60 μm	1日~10日
7	中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	0.17kg/m <sup>2</sup>	30 μm	1日~10日
8	上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗	0.14kg/m <sup>2</sup>	25 μm	1日~10日

鋼道路橋防食便覧 P.11-118

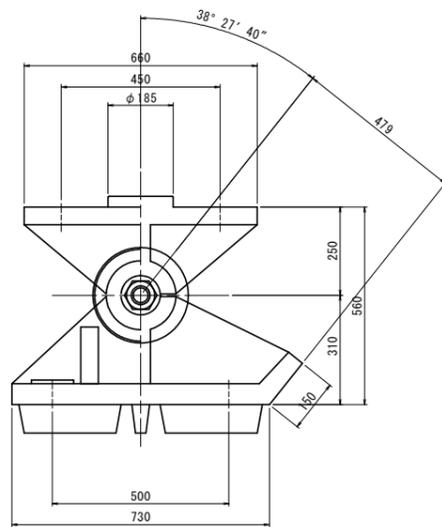
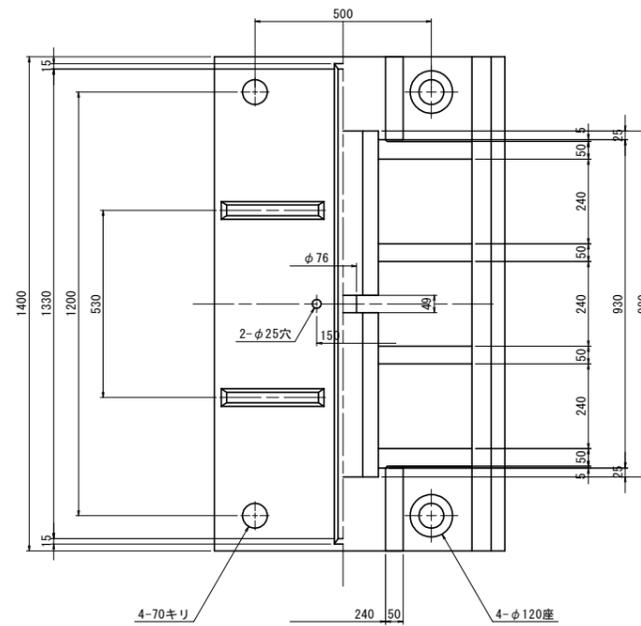
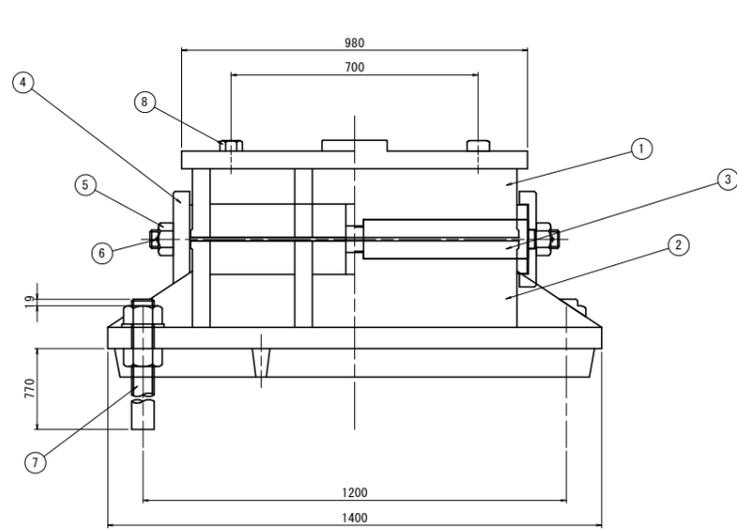
※ 鋼部材 (外面塗装) を全て再塗装する。

注記  
資材運搬等には2.9t吊りユニッククレーンを用いる(想定)。

工事名	京都市東部山間立地処分地橋梁補修工事 (管理道路4号橋)		
工事場所	京都市伏見区醍醐陀羅谷1番104他地内		
図面名	現場塗装工		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	2 / 14
京都市環境政策局立地事業管理事務所			

# 支承防食工(その1) S=1:10

## A1 ピン支承



### 施工手順(支承防食工)



### 設計条件 (常時換算値)

反		力	
全反力	R	302.6	ton
橋軸方向水平力 (温風時)	$R_{H1}$	41.4	ton
橋軸直角方向水平力 (風時)	$R_{H2}$	29.3	ton
アーチリブ振り反力 (常時)	$M_x$	16.5	ton·m
橋軸直角方向モーメント (風時)	$M_y$	93.5	ton
上揚力 (地震時)	V	22.6	ton
水平震度			
設計水平震度	$K_H$	0.20	
許容支圧応力度			
下部工との許容支圧応力度	$\sigma_{ba}$	80	kg/cm <sup>2</sup>
上部工との許容支圧応力度	$\sigma_{ba}$	2100	kg/cm <sup>2</sup>

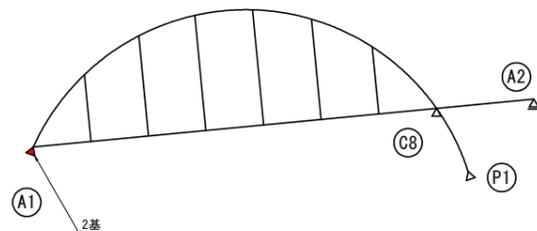
部番	部品名	材質	個数	重量(kg)	備考
1	上 蓋	SCMn1A	1	482.5	
2	下 蓋	SCMn1A	1	940.0	
3	ピン	S35CN	1	74.0	
4	キャップ	SS400	2	29.4	
5	ナット	SS400	2	2.4	JIS B1181
6	割リピン	ステンレス鋼	2	—	JIS B1351
7	アンカーボルト、ナット	SS400	4	123.0	JIS B 1181 種 中 M54
8	六角ボルト、ナット	—	4	7.2	JIS B 1180 JIS B 1181
全重量 (kg)				1658.5	

### 金属溶射仕様

種別	内容
素地調整	プラスト処理 除せいで度ISO 8501-1 Sa2 1/2以上 表面粗さRz50μm以上 (又は粗面化処理 Rz50μm以上) プラスト処理等により密着油分、水分、じんあい等を除去し、清浄面とする。
金属溶射	最小皮膜厚さ100μm以上
封孔処理	封孔処理剤 スプレー塗装

鋼道路橋防食便覧, 日本道路協会, 平成26年3月, p. V-18参照

### 配置図



### 支承防食工 数量表

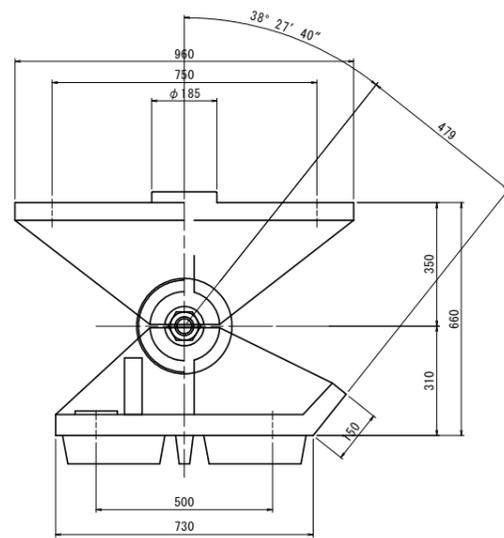
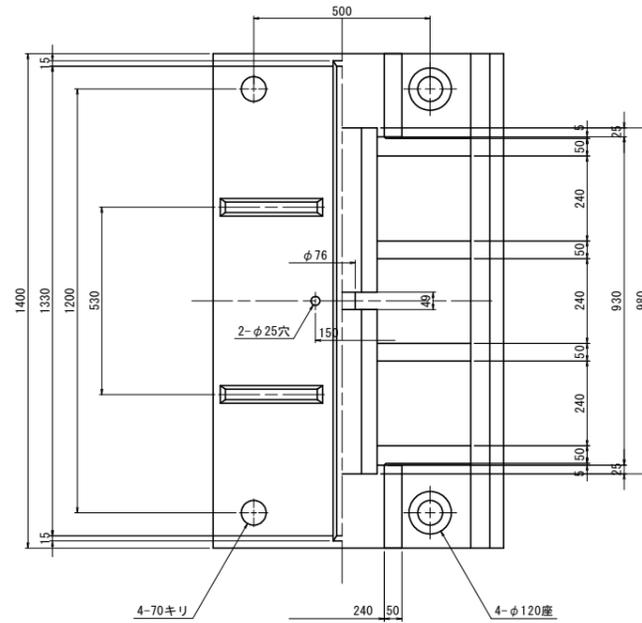
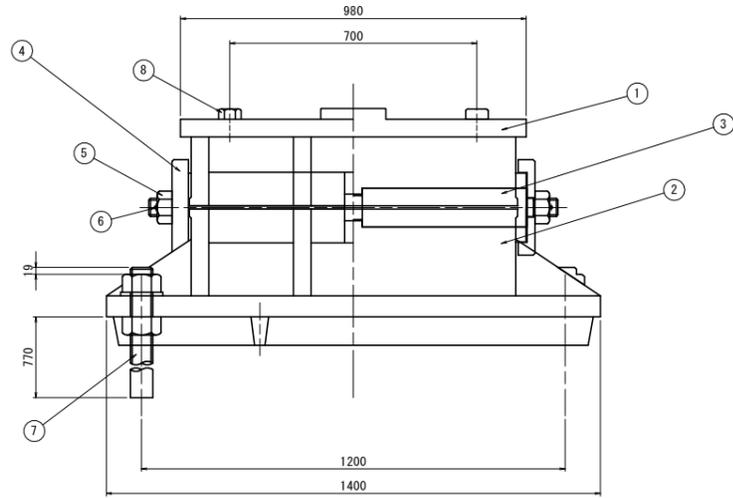
名称	規格	単位	数量	備考
ピン支承	300tを超え450t以下	基	2	302.6t/基

注記  
1. 施工に当たっては現地計測を行い、既設構造物等の寸法を確認すること。  
2. 資材運搬等は4tトラック(ロングボディ)を用いる(想定)。

工事名	京都市東部山間立地処分橋梁補修工事 (管理道路4号橋)		
工事場所	京都市伏見区醍醐陀羅谷1番104他地内		
図面名	支承防食工(その1)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	S=1:10	図面番号	3 / 14
京都市環境政策局立地事業管理事務所			

# 支承防食工（その2） S=1:10

## P1 ピン支承



### 設計条件 (常時換算値)

反力		
全反力	R	314.9 ton
橋軸方向水平力 (温風時)	R <sub>H1</sub>	19.1 ton
橋軸直角方向水平力 (風時)	R <sub>H2</sub>	16.4 ton
アーチリブ振り反力 (温風時)	M <sub>x</sub>	6.6 tonm
橋軸直角方向モーメント (風時)	M <sub>y</sub>	38.9 ton
上揚力 (地震時)	V	23.5 ton
水平震度		
設計水平震度	K <sub>H</sub>	0.20
許容支圧応力度		
下部工との許容支圧応力度	σ <sub>ba</sub>	80 kg/cm <sup>2</sup>
上部工との許容支圧応力度	σ <sub>ba</sub>	2100 kg/cm <sup>2</sup>

部番	部品名	材質	個数	重量(kg)	備考
1	上 容	SCM1A	1	766.2	
2	下 容	SCM1A	1	940.0	
3	ピン	S35CN	1	74.0	
4	キャップ	SS400	2	29.4	
5	ナット	SS400	2	2.4	JIS B1181
6	割リピン	ステンレス鋼	2	—	JIS B1351
7	アンカーボルト、ナット	SS400	4	123.0	JIS B 1181 種 中 M54
8	六角ボルト、ナット	—	4	7.2	JIS B 1180 JIS B 1181
全重量 (kg)				1942.2	

### 施工手順 (支承防食工)

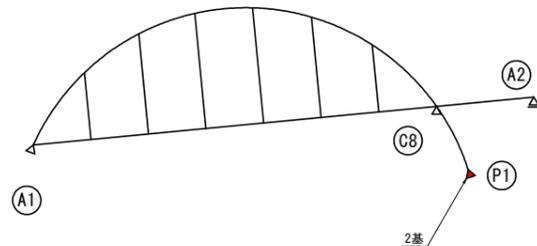


### 金属溶射仕様

種別	内容
素地調整	プラスト処理 除せいでISO 8501-1 Sa2 1/2以上 表面粗さRz50μm以上 (又は粗面化処理 Rz50μm以上) プラスト処理等により密着油分、水分、じんあい等を除去し、清浄面とする。
金属溶射	最小皮膜厚さ100μm以上
封孔処理	封孔処理剤 スプレー塗装

鋼道路橋防食便覧, 日本道路協会, 平成26年3月, p. V-18参照

### 配置図



### 支承防食工 数量表

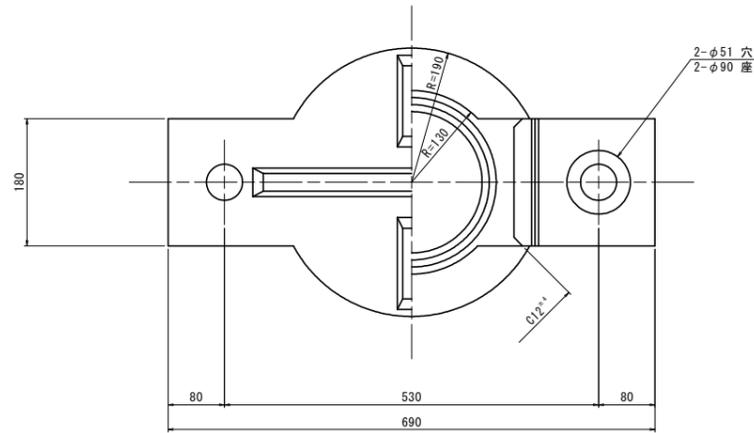
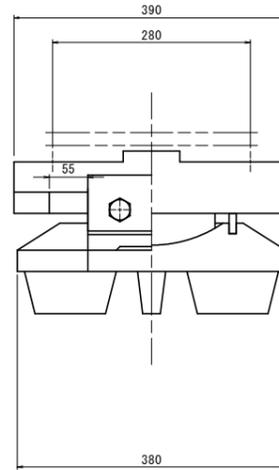
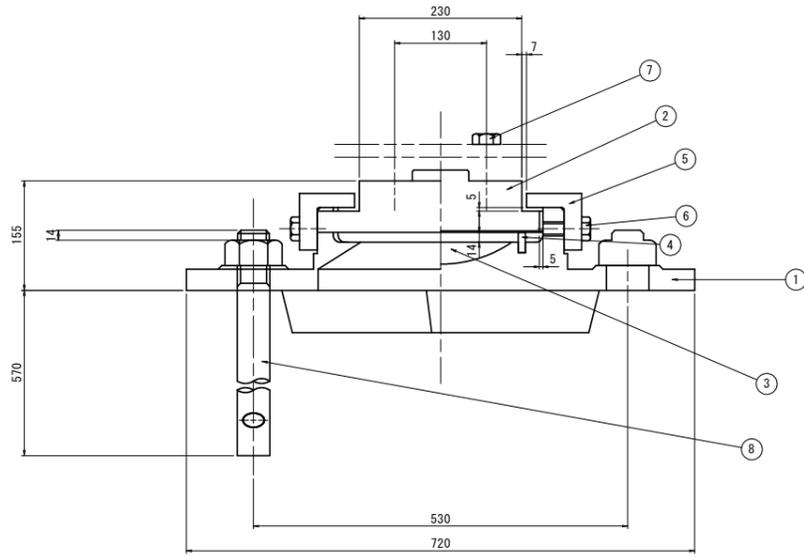
名称	規格	単位	数量	備考
ピン支承	300tを超え450t以下	基	2	314.9t/基

注記  
1. 施工に当たっては現地計測を行い、既設構造物等の寸法を確認すること。  
2. 資材運搬等は4tトラック(ロングボディ)を用いる(想定)。

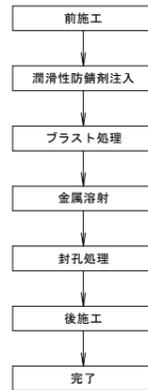
工事名	京都市東部山間埋立処分地橋梁補修工事 (管理道路4号橋)		
工事場所	京都市伏見区醍醐陀羅谷1番104他地内		
図面名	支承防食工 (その2)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	S=1:10	図面番号	4 / 14
京都市環境政策局埋立事業管理事務所			

# 支承防食工（その3） S=1:5

## A2 BP支承



### 施工手順（支承防食工）



### 設計条件

反 力		
全 反 力	R	60.0 ton
死荷重反力	Rd	33.8 ton
活荷重反力	R(l+i)	26.2 ton
橋軸方向水平力 (移動時)	R <sub>Hlf</sub>	9.0 ton
橋軸方向水平力 (地震時)	R <sub>Hle</sub>	6.8 ton
橋軸直角方向水平力 (地震時)	R <sub>H2e</sub>	22.5 ton
上 揚 力 (地震時)	V	3.4 ton
移 動 量		
計算移動量	e <sub>1</sub>	50 mm
設計移動量	e <sub>2</sub>	70 mm
全移動可能量	e	110 mm
水 平 震 度		
設計水平震度	K <sub>H</sub>	0.20
摩 擦 係 数		
設計摩擦係数	f	0.15
許 容 支 圧 応 力 度		
下部工との許容支圧応力度	σ <sub>ba</sub>	80 kg/cm <sup>2</sup>

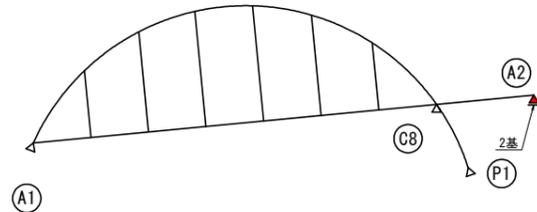
部番	部 品 名	材 質	個 数	重 量 (kg)	備 考
1	下 容	SCM1A	1	76.2	
2	上 容	SS400	1	56.2	
3	ベアリングプレート	HBsC4+SL	1	6.6	
4	シールリング	クロロプレングム	1	0.3	
5	サイドブロック	SS400	2	8.4	
6	六角ボルト	—	4	0.7	JIS B1180
7	六角ボルト	—	4	2.5	JIS B 1180 テーパ座金付
8	アンカーボルト、ナット	SS400	2	18.5	JIS B 1181 I種 中 M36
9	ステンレス板	SUS316	1	1.5	260x356x2
全 重 量 (kg)				170.9	

### 金属溶射仕様

種別	内 容
素地調整	プラスト処理 除せいでISO 8501-1 Sa2 1/2以上 表面粗さRz50 μm以上 (又は粗面化処理 Rz50 μm以上) プラスト処理等により密着油分、水分、じんあい等を除去し、清浄面とする。
金属溶射	最小皮膜厚さ100 μm以上
封孔処理	封孔処理剤 スプレー塗装

鋼道路橋防食便覧、日本道路協会、平成26年3月、p. V-18参照

### 配置図



### 支承防食工 数量表

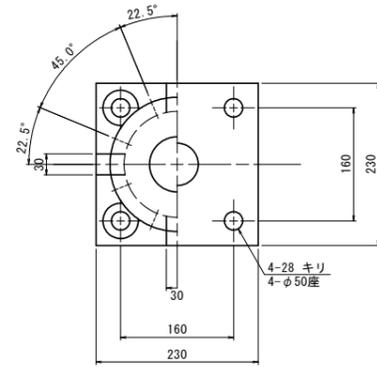
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
BP支承	30tを超え150t以下	基	2	60.0t/基

注記  
1. 施工に当たっては現地計測を行い、既設構造物等の寸法を確認すること。  
2. 資材運搬等は4tトラック(ロングボディ)を用いる(想定)。

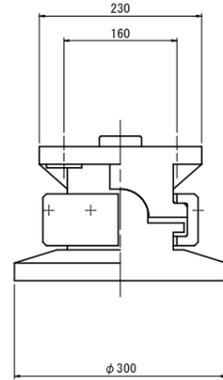
工 事 名	京都市東部山間埋立処分地橋梁補修工事 (管理道路4号橋)		
工事場所	京都市伏見区醍醐院蔵谷1番104他地内		
図 面 名	支承防食工 (その3)		
事業年度	令和7年度		
縮 尺	S=1:5	図面番号	5 / 14
京都市環境政策局埋立事業管理事務所			

# 支承防食工（その4） S=1:5

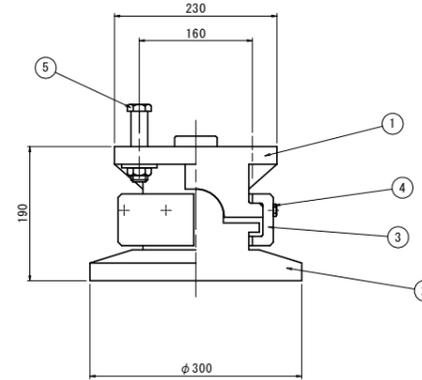
## C8 PV支承



橋軸方向



橋軸直角方向



### 設計条件

反力		
全反力	R	37.7 ton
死荷重反力	R <sub>d</sub>	22.5 ton
活荷重反力	R(1+ $\gamma$ )	15.2 ton
橋軸方向水平力 (常時)	R <sub>H1</sub>	9.0 ton
橋軸方向水平力 (風時)	R <sub>H1W</sub>	21.6 ton
橋軸直角方向水平力 (常時)	R <sub>H2</sub>	1.2 ton
上揚力 (地震時)	V	2.3 ton
水平震度		
設計水平震度	K <sub>H</sub>	0.20
許容支圧応力度		
上部工との許容支圧応力度	$\sigma_{ba}$	2100 kg/cm <sup>2</sup>
下部工との許容支圧応力度	$\sigma_{ba}$	2100 kg/cm <sup>2</sup>

部番	部品名	材質	個数	重量(kg)	備考
1	上 容	SCW480	1	22.0	
2	下 容	SCW480	1	24.7	
3	リング	SS400	1	7.1	
4	六角ボルト	—	8	0.2	JIS B1180
5	六角ボルト、ナット	—	4	2.3	JIS B 1180 JIS B 1181
全重量 (kg)				56.3	

### 施工手順(支承防食工)

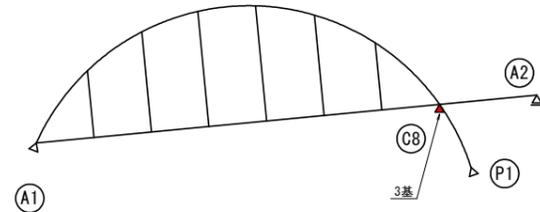


### 金属溶射仕様

種別	内容
素地調整	プラスト処理 除せいで度 ISO 8501-1 Sa2 1/2 以上 表面粗さ Rz50 μm 以上 (又は粗面化処理 Rz50 μm 以上) プラスト処理等により密着油分、水分、じんあい等を除去し、清浄面とする。
金属溶射	最小皮膜厚さ 100 μm 以上
封孔処理	封孔処理剤 スプレー塗装

鋼道路橋防食便覧、日本道路協会、平成26年3月、p. V-18参照

配置図



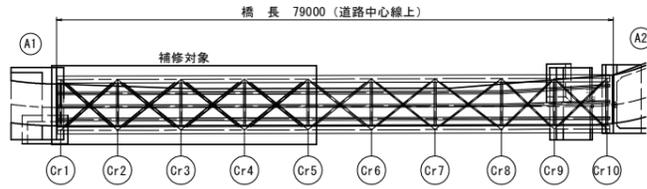
### 支承防食工 数量表

名称	規格	単位	数量	備考
PV支承	30tを超え150t以下	基	3	37.7t/基

注記  
1. 施工に当たっては現地計測を行い、既設構造物等の寸法を確認すること。  
2. 資材運搬等は4tトラック(ロングボディ)を用いる(想定)。

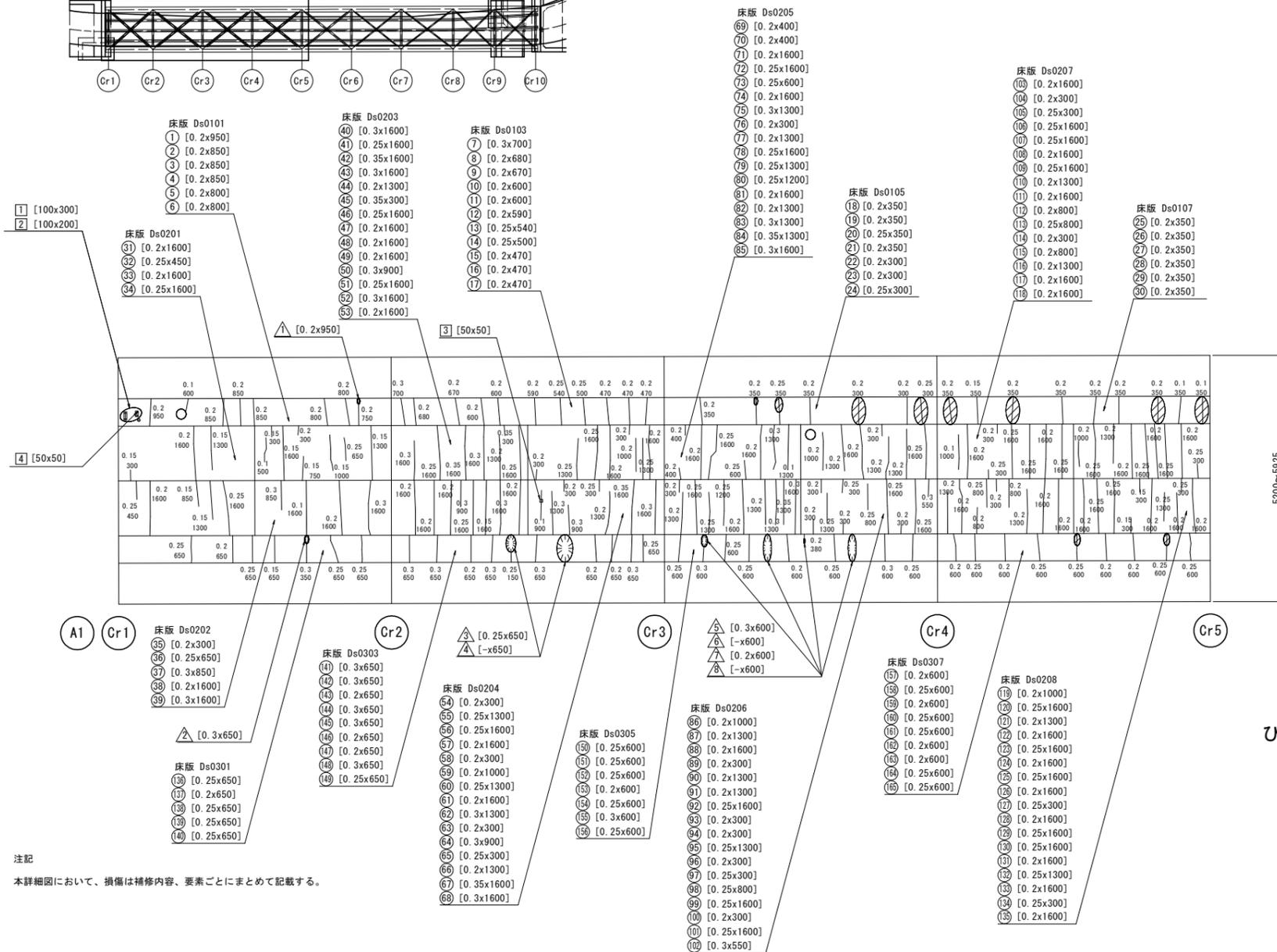
工事名	京都市東部山間埋立処分地橋梁補修工事 (管理道路4号橋)		
工事場所	京都市伏見区醍醐陀羅谷1番104他地内		
図面名	支承防食工(その4)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	S=1:5	図面番号	6 / 14
京都市環境政策局埋立事業管理事務所			

位置図 S=1:500



断面修復 ひびわれ補修工詳細図(その1)

桁下面 (A1側)



断面修復工 (左官工法-鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

番号	防錆処理	幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)	面積 (m <sup>2</sup> )	体積 (m <sup>3</sup> )
1	有	0.100	0.300	0.100	0.030	0.0030
2	有	0.100	0.200	0.100	0.020	0.0020
3	有	0.050	0.050	0.100	0.003	0.0003
4	有	0.050	0.050	0.100	0.003	0.0003
合計 (防錆処理有)					0.056	0.0056

ひび割れ補修工 (充てん工法)

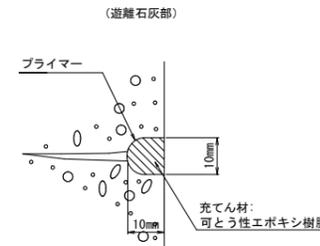
番号	幅 (mm)	長さ (m)	備考
△1	0.20	0.95	※2
△2	0.30	0.65	※3
△3	0.25	0.65	※3
△4	-	0.65	※1.3
△5	0.30	0.60	※4
△6	-	0.60	※1.4
△7	0.20	0.60	※4
△8	-	0.60	※1.4
合計			
		5.30	

ひび割れ補修工 (低圧注入工法)

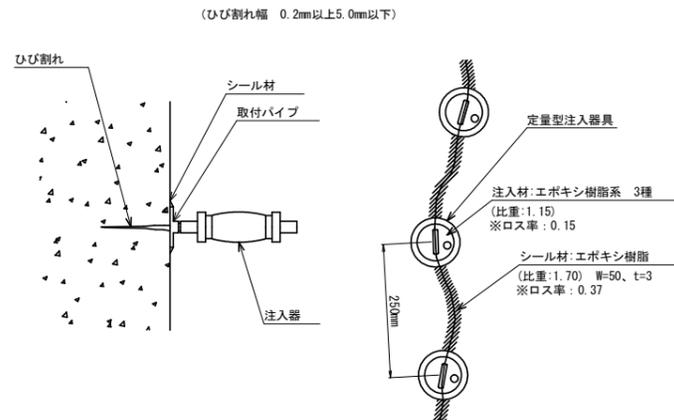
番号	幅 (mm)	長さ (m)	番号	幅 (mm)	長さ (m)	番号	幅 (mm)	長さ (m)
1	0.20	0.95	56	0.25	1.60	111	0.20	1.60
2	0.20	0.85	57	0.20	1.60	112	0.20	0.80
3	0.20	0.85	58	0.20	0.30	113	0.25	0.80
4	0.20	0.85	59	0.20	1.00	114	0.20	0.30
5	0.20	0.80	60	0.25	1.30	115	0.20	0.80
6	0.20	0.80	61	0.20	1.60	116	0.20	1.30
7	0.30	0.70	62	0.30	1.30	117	0.20	1.60
8	0.20	0.68	63	0.20	0.30	118	0.20	1.60
9	0.20	0.67	64	0.30	0.90	119	0.20	1.00
10	0.20	0.60	65	0.25	0.30	120	0.25	1.60
11	0.20	0.60	66	0.20	1.30	121	0.20	1.30
12	0.20	0.59	67	0.35	1.60	122	0.20	1.60
13	0.25	0.54	68	0.30	1.60	123	0.25	1.60
14	0.25	0.50	69	0.20	0.40	124	0.20	1.60
15	0.20	0.47	70	0.20	0.40	125	0.25	1.60
16	0.20	0.47	71	0.20	1.60	126	0.20	1.60
17	0.20	0.47	72	0.25	1.60	127	0.25	0.30
18	0.20	0.35	73	0.25	0.60	128	0.20	1.60
19	0.20	0.35	74	0.20	1.60	129	0.25	1.60
20	0.25	0.35	75	0.30	1.30	130	0.25	1.60
21	0.20	0.35	76	0.20	0.30	131	0.20	1.60
22	0.20	0.30	77	0.20	1.30	132	0.25	1.30
23	0.20	0.30	78	0.25	1.60	133	0.20	1.60
24	0.25	0.30	79	0.25	1.30	134	0.25	0.30
25	0.20	0.35	80	0.25	1.20	135	0.20	1.60
26	0.20	0.35	81	0.20	1.60	136	0.25	0.65
27	0.20	0.35	82	0.20	1.30	137	0.20	0.65
28	0.20	0.35	83	0.30	1.30	138	0.25	0.65
29	0.20	0.35	84	0.35	1.30	139	0.25	0.65
30	0.20	0.35	85	0.30	1.60	140	0.25	0.65
31	0.20	1.60	86	0.20	1.00	141	0.30	0.65
32	0.25	0.45	87	0.20	1.30	142	0.30	0.65
33	0.20	1.60	88	0.20	1.60	143	0.20	0.65
34	0.25	1.60	89	0.20	0.30	144	0.30	0.65
35	0.20	0.30	90	0.20	1.30	145	0.30	0.65
36	0.25	0.65	91	0.20	1.30	146	0.20	0.65
37	0.30	0.85	92	0.25	1.60	147	0.20	0.65
38	0.20	1.60	93	0.20	0.30	148	0.30	0.65
39	0.30	1.60	94	0.20	0.30	149	0.25	0.65
40	0.30	1.60	95	0.25	1.30	150	0.25	0.60
41	0.25	1.60	96	0.20	0.30	151	0.25	0.60
42	0.35	1.60	97	0.25	0.30	152	0.25	0.60
43	0.30	1.60	98	0.25	0.80	153	0.20	0.60
44	0.20	1.30	99	0.25	1.60	154	0.25	0.60
45	0.35	0.30	100	0.20	0.30	155	0.30	0.60
46	0.25	1.60	101	0.25	1.60	156	0.25	0.60
47	0.20	1.60	102	0.30	0.55	157	0.20	0.60
48	0.20	1.60	103	0.20	1.60	158	0.25	0.60
49	0.20	1.60	104	0.20	0.30	159	0.20	0.60
50	0.30	0.90	105	0.25	0.30	160	0.25	0.60
51	0.25	1.60	106	0.25	1.60	161	0.25	0.60
52	0.30	1.60	107	0.25	1.60	162	0.20	0.60
53	0.20	1.60	108	0.20	1.60	163	0.20	0.60
54	0.20	0.30	109	0.25	1.60	164	0.25	0.60
55	0.25	1.30	110	0.20	1.30	165	0.25	0.60
		合計		159.29				

※1 ひびわれ幅については遊離石灰により計測不可。  
 ※2 ひびわれ長さは隣接するひびわれ950mmとした。  
 ※3 ひびわれ長さは隣接するひびわれ650mmとした。  
 ※4 ひびわれ長さは隣接するひびわれ600mmとした。

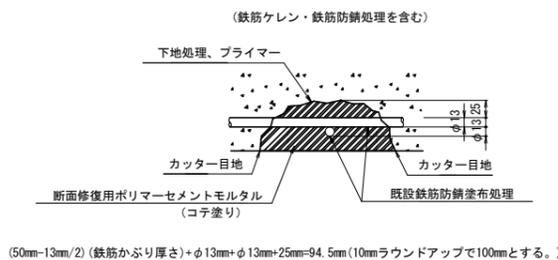
ひび割れ補修工 (充てん工法) 詳細図



ひび割れ補修工 (低圧注入工法) 詳細図



断面修復工 (左官工法) 詳細図



断面修復工特記事項

- 断面修復はつり深さは、現地のコンクリート劣化状況により決定すること。(脆弱部は、はつりとすること。)
- 断面修復面積は、コンクリートの劣化状況により決定するものとし現地にて確認すること。
- 断面修復の平均厚決定について  
断面修復の平均厚の決定は、施工完了後の空袋、充填の数量により決定すること。  
空袋、充填については、監督職員の了承を得ること。
- 断面修復の箇所のフェザーエッジを回避するため、コンクリートカッターで切れ目を入れること。

ひび割れ補修工 (その1) 合計

名称	規格	単位	数量	備考
ひびわれ補修工	延べ延長	m	159.29	
	注入材 エポキシ樹脂 3種	kg	1.168	ロス率(0.15)含む
	シール材 エポキシ樹脂	kg	40.619	ロス率含まない
	低圧注入器具	個	736	
充てん工法	延べ延長	m	5.30	
	プライマー(エポキシ樹脂系)	kg	0.027	
	充てん材(同とう性エポキシ樹脂)	kg	0.643	ロス率含まない

断面修復工 合計

名称	規格	単位	数量	備考
断面修復工	左官工法	m <sup>3</sup>	0.0056	ロス率含まない

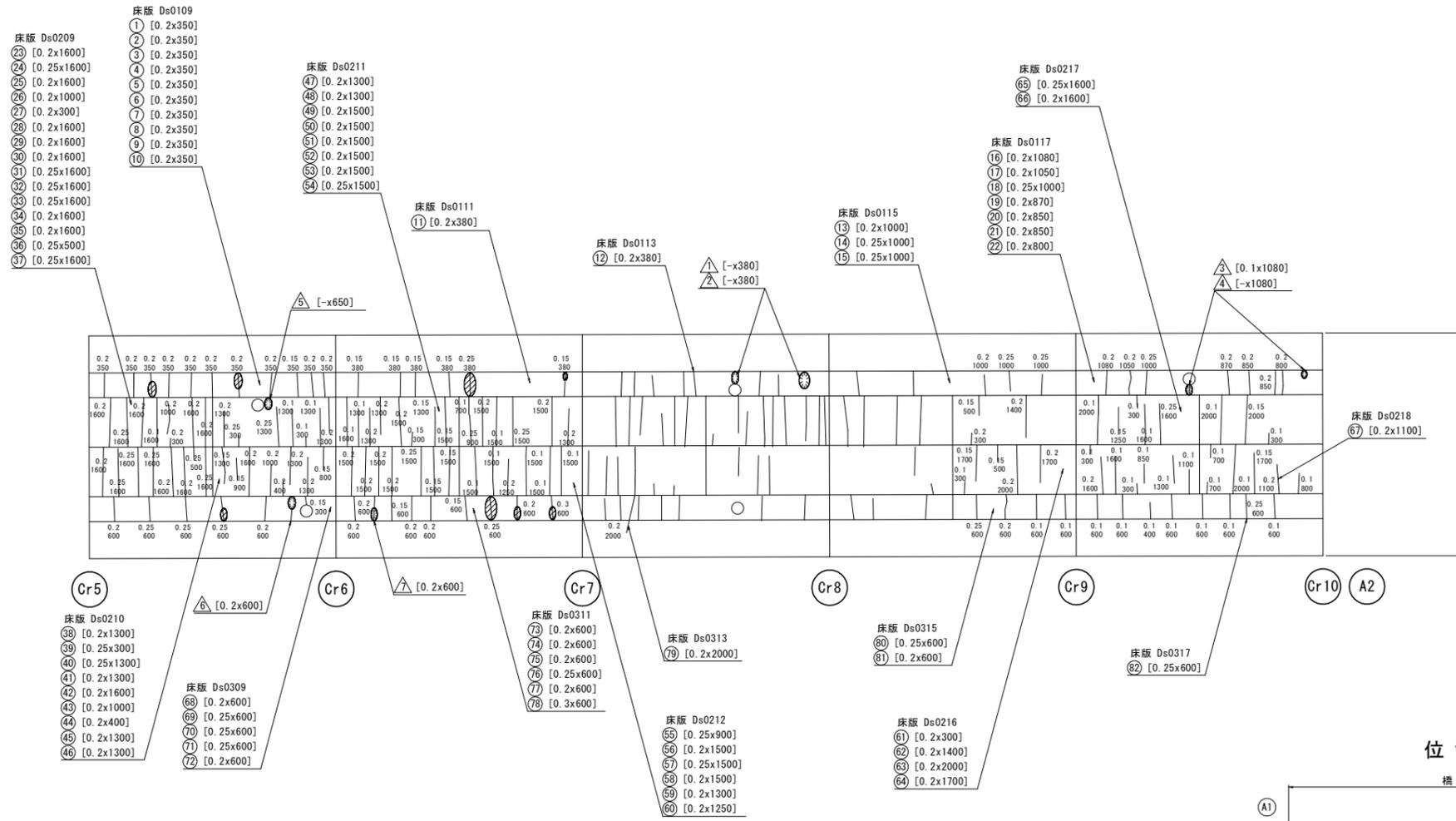
注記

- 各寸法値は施工前に確認すること。
- 資材運搬等には2.9t吊りユニッククレーンを用いる(想定)。

工事名	京都市東部山間立地処分地橋梁補修工事 (管理道路4号橋)		
工事場所	京都市伏見区醍醐陀羅谷1番104他地内		
図面名	断面修復 ひびわれ補修工詳細図(その1)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	7 / 14
京都市環境政策局立地処分地橋梁補修工事			

# 断面修復 ひびわれ補修工詳細図(その2)

桁下面 (A2側)



ひび割れ補修工 (充てん工)

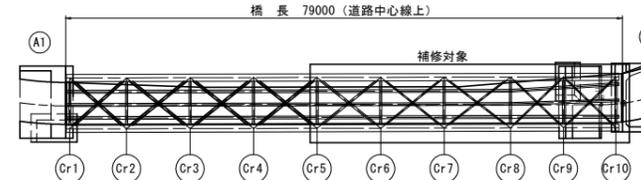
番号	幅 (mm)	長さ (m)	備考
①	-	0.38	※1.2
②	-	0.38	※1.2
③	0.10	1.08	※3
④	-	1.08	※1.3
⑤	-	0.65	※1.4
⑥	0.20	0.60	※5
⑦	0.20	0.60	※5
合計		4.77	

※1 ひびわれ幅については遊離石灰により計測不可。  
 ※2 ひびわれ長さは隣接するひびわれ380mmとした。  
 ※3 ひびわれ長さは隣接するひびわれ1080mmとした。  
 ※4 ひびわれ長さは隣接するひびわれ650mmとした。  
 ※5 ひびわれ長さは隣接するひびわれ600mmとした。

ひび割れ補修工 (低圧注入工法)

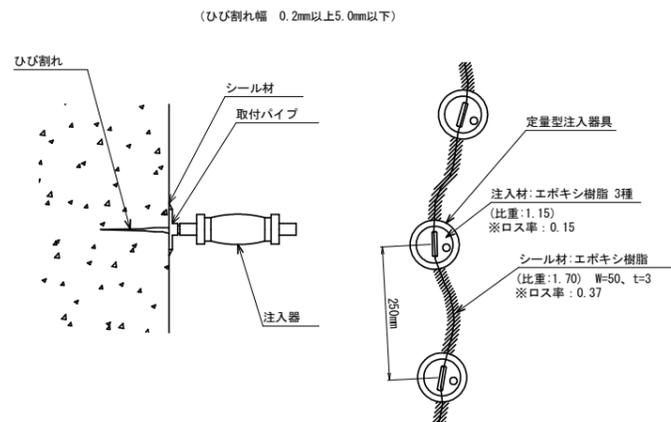
番号	幅 (mm)	長さ (m)	番号	幅 (mm)	長さ (m)
①	0.20	0.35	⑤1	0.20	1.50
②	0.20	0.35	⑤2	0.20	1.50
③	0.20	0.35	⑤3	0.20	1.50
④	0.20	0.35	⑤4	0.25	1.50
⑤	0.20	0.35	⑤5	0.25	0.90
⑥	0.20	0.35	⑤6	0.20	1.50
⑦	0.20	0.35	⑤7	0.25	1.50
⑧	0.20	0.35	⑤8	0.20	1.50
⑨	0.20	0.35	⑤9	0.20	1.30
⑩	0.20	0.35	⑥0	0.20	1.25
⑪	0.20	0.38	⑥1	0.20	0.30
⑫	0.20	0.38	⑥2	0.20	1.40
⑬	0.20	1.00	⑥3	0.20	2.00
⑭	0.25	1.00	⑥4	0.20	1.70
⑮	0.25	1.00	⑥5	0.25	1.60
⑯	0.20	1.08	⑥6	0.20	1.60
⑰	0.20	1.05	⑥7	0.20	1.10
⑱	0.25	1.00	⑥8	0.20	0.60
⑲	0.20	0.87	⑥9	0.25	0.60
⑳	0.20	0.85	⑦0	0.25	0.60
㉑	0.20	0.85	⑦1	0.25	0.60
㉒	0.20	0.80	⑦2	0.20	0.60
㉓	0.20	1.60	⑦3	0.20	0.60
㉔	0.25	1.60	⑦4	0.20	0.60
㉕	0.20	1.60	⑦5	0.20	0.60
㉖	0.20	1.00	⑦6	0.25	0.60
㉗	0.20	0.30	⑦7	0.20	0.60
㉘	0.20	1.60	⑦8	0.30	0.60
㉙	0.20	1.60	⑦9	0.20	2.00
㉚	0.20	1.60	⑧0	0.25	0.60
㉛	0.25	1.60	⑧1	0.20	0.60
㉜	0.25	1.60	⑧2	0.25	0.60
㉝	0.25	1.60	合計		84.21
㉞	0.20	1.60			
㉟	0.25	0.50			
㊱	0.25	1.60			
㊲	0.20	1.30			
㊳	0.25	0.30			
㊴	0.25	1.30			
㊵	0.25	1.30			
㊶	0.20	1.30			
㊷	0.20	1.30			
㊸	0.20	1.50			
㊹	0.20	1.50			
㊺	0.20	1.50			

位置図 S=1:500

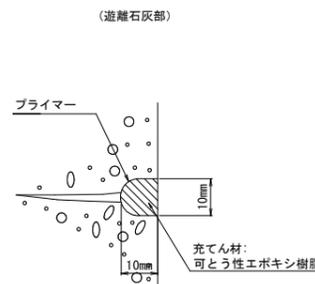


- 注記
1. 本詳細図において、損傷は補修内容、要素ごとにまとめて記載する。
  2. 特記なきひびわれ幅は0.1mm以下を示す。

ひび割れ補修工 (低圧注入工法) 詳細図



ひび割れ補修工 (充てん工法) 詳細図



ひび割れ補修工 (その2) 合計

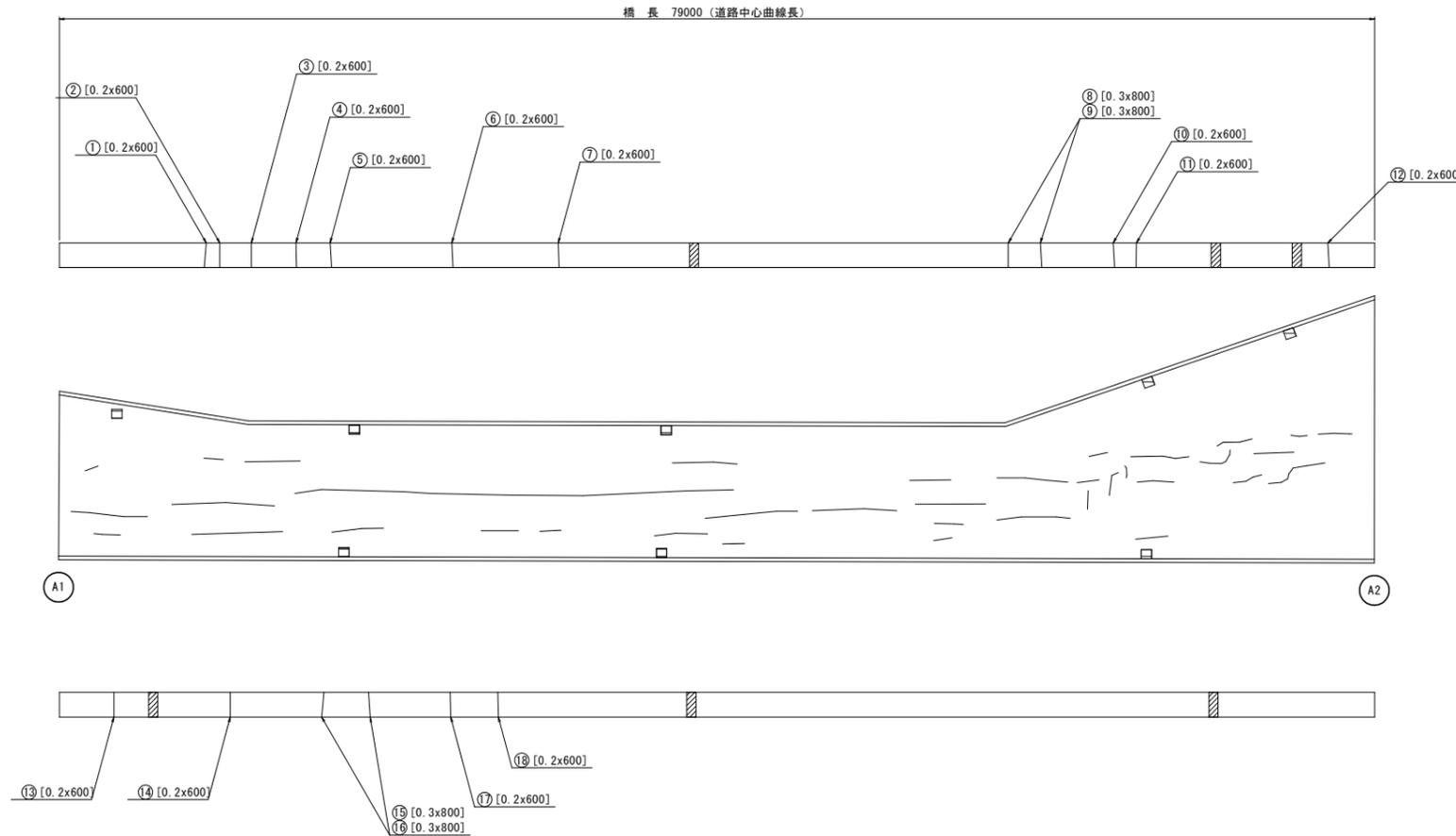
名称	規格	単位	数量	備考
ひびわれ補修工	延べ延長	m	84.21	
	注入材 エポキシ樹脂 3種	kg	0.499	ロス率(0.15)含む
	シール材 エポキシ樹脂	kg	21.474	ロス率含まない
	低圧注入器具	個	376	
充てん工法	延べ延長	m	4.77	
	プライマー(エポキシ樹脂系)	kg	0.025	
	充てん材(可とう性エポキシ樹脂)	kg	0.579	ロス率含まない

- 注記
1. 各寸法値は施工前に確認すること。
  2. 資材運搬等には2.9t吊りユニッククレーンを用いる(想定)。

工事名	京都市東部山間埋立処分地橋梁補修工事 (管理道路4号橋)		
工事場所	京都市伏見区醍醐陀羅谷1番104地内		
図面名	断面修復 ひびわれ補修工詳細図(その2)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	8 / 14
京都市環境政策局埋立事業管理事務所			

# 断面修復 ひびわれ補修工詳細図(その3) S=1:200

橋面・地覆



ひび割れ補修工 (低圧注入工法)

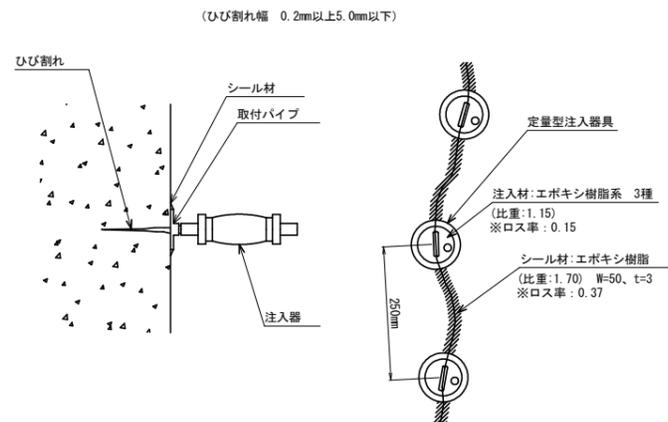
番号	幅(mm)	長さ(m)	備考
①	0.20	0.60	※1.2
②	0.20	0.60	※1.2
③	0.20	0.60	※1.2
④	0.20	0.60	※1.2
⑤	0.20	0.60	※1.2
⑥	0.20	0.60	※1.2
⑦	0.20	0.60	※1.2
⑧	0.30	0.80	
⑨	0.30	0.80	
⑩	0.20	0.60	※1.2
⑪	0.20	0.60	※1.2
⑫	0.20	0.60	※1.2
⑬	0.20	0.60	※1.2
⑭	0.20	0.60	※1.2
⑮	0.30	0.80	
⑯	0.30	0.80	
⑰	0.20	0.60	※1.2
⑱	0.20	0.60	※1.2
合計		11.60	

※1 ひびわれ幅については想定として0.20mmとした。  
 ※2 ひびわれ長さについては想定として地覆幅(600mm)とした。

ひび割れ補修工 (その3) 合計

名称	規格	単位	数量	備考	
ひびわれ補修工	低圧注入工法	延べ延長	m	11.60	
		注入材 エポキシ樹脂 3種	kg	0.074	ロス率(0.15)含む
		シール材 エポキシ樹脂	kg	2.958	ロス率含まない
		低圧注入器具	個	58	

ひび割れ補修工(低圧注入工法)詳細図



ひび割れ補修工 (その1~3) 合計

名称	規格	単位	数量	備考	
ひびわれ補修工	低圧注入工法	延べ延長	m	255.1	
		注入材 エポキシ樹脂 3種	kg	1.741	ロス率(0.15)含む
		シール材 エポキシ樹脂	kg	65.051	ロス率含まない
		低圧注入器具	個	1170	
	充てん工法	延べ延長	m	10.07	
		プライマー(エポキシ樹脂系)	kg	0.05	
		充てん材(可とう性エポキシ樹脂)	kg	1.22	ロス率含まない

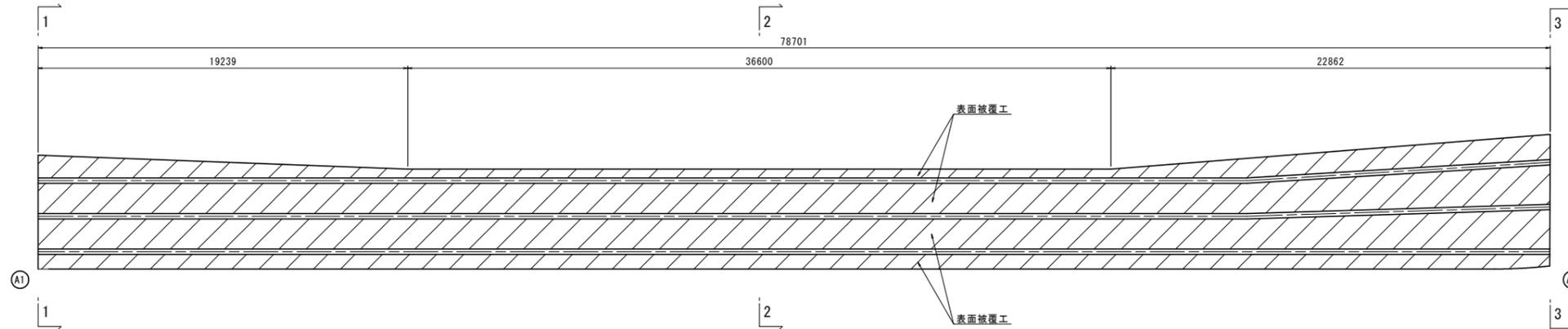
注記

- 各寸法値は施工前に確認すること。
- 資材運搬等には2.9t吊りユニッククレーンを用いる(想定)。

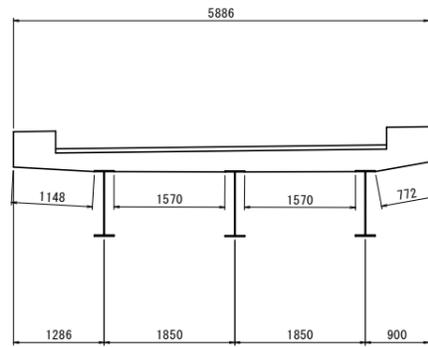
工事名	京都市東部山間埋立処分地橋梁補修工事 (管理道路4号橋)		
工事場所	京都市伏見区醍醐陀羅谷1番104他地内		
図面名	断面修復 ひびわれ補修工詳細図(その3)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	S=1:200	図面番号	9 / 14
京都市環境政策局埋立事業管理事務所			

# 表面被覆工詳細図

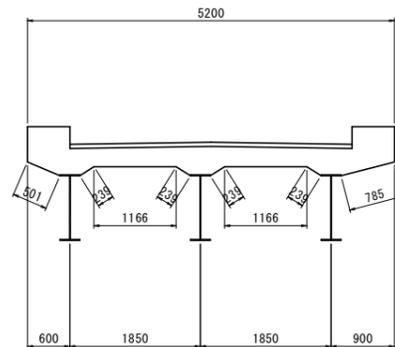
平面図 S=1:150



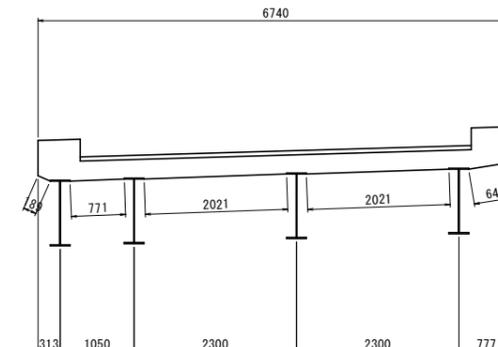
1-1断面図 S=1:50



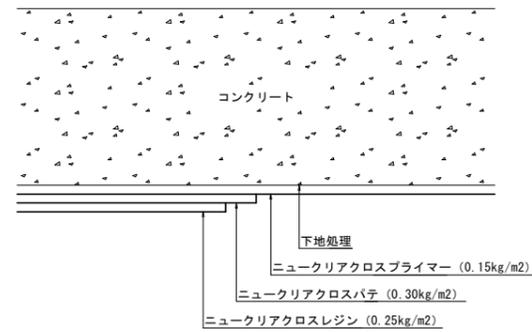
2-2断面図 S=1:50



3-3断面図 S=1:50



表面保護工 S=1:2



表面被覆工 数量表

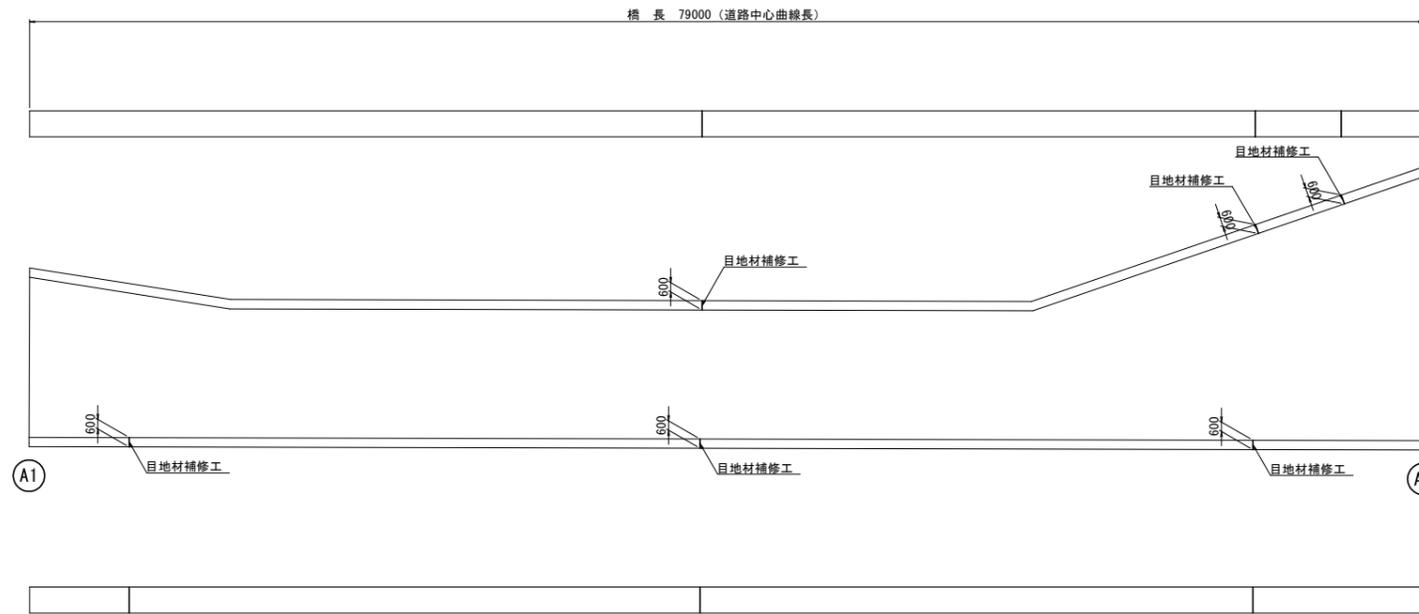
名称	規格	単位	数量	備考
表面被覆工	ニュークリアロス工法 (保護塗装仕様) 同等品以上	m <sup>2</sup>	376.9	

注記  
施工前に寸法等を確認すること。

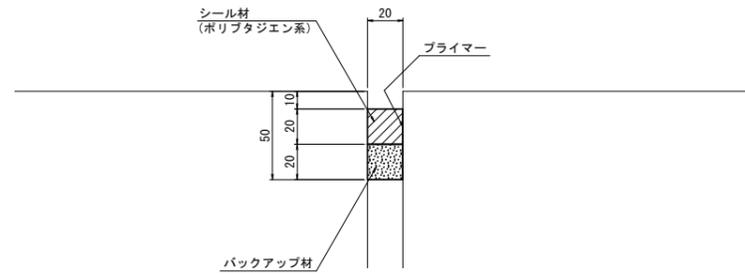
工事名	京都市東部山間埋立処分地橋梁補修工事 (管理道路4号橋)		
工事場所	京都市伏見区醍醐陀羅谷1番104他地内		
図面名	表面被覆工詳細図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	10 / 14
京都市環境政策局埋立事業管理事務所			

# 目地材補修工図

平面図 S=1:200



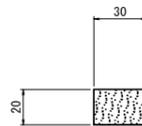
断面図 S=1:2



目地材補修工 数量表

名称	規格	単位	数量	備考
目地補修工	補修箇所	箇所	6	
	シーリング材 (ポリブタジエン系)	L	1.44	
	バックアップ材 (軟質ポリウレタンフォーム)	L	2.16	

バックアップ材断面図 S=1:2  
(軟質ポリウレタンフォーム)  
[製作幅=30]

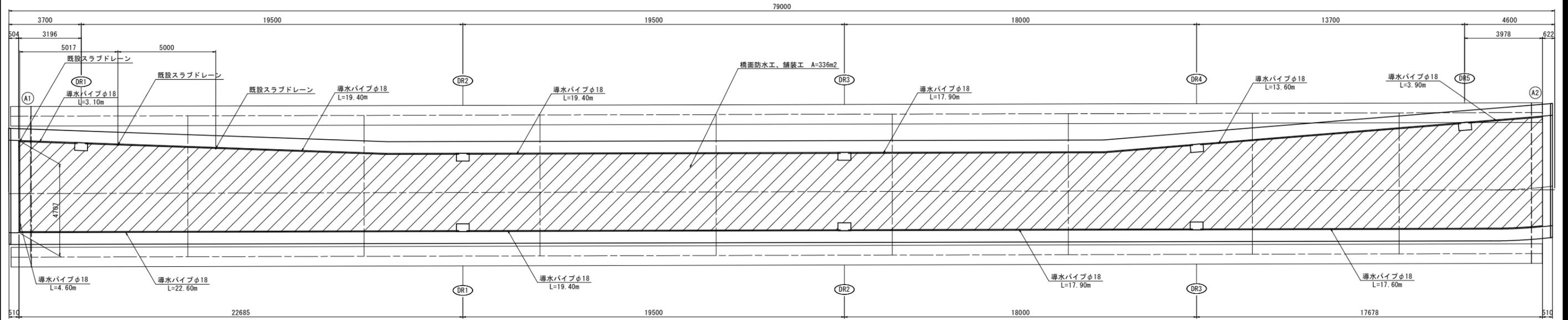


補修箇所は現地実測確認の上で施工を行うこと。  
施工に際しては現地で補修箇所及び寸法、数量を確認のこと。  
各種止水材を設置する際、目地の止水接着面の下地処理を確実にすること。  
シーリング材に接する躯体面には施工前に専用プライマー(0.3kg/m<sup>2</sup>)を塗布すること。

工事名	京都市東部山間埋立処分地橋梁補修工事 (管理道路4号橋)		
工事場所	京都市伏見区醍醐陀羅谷1番104地内		
図面名	目地材補修工図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	11 / 14
京都市環境政策局埋立事業管理事務所			

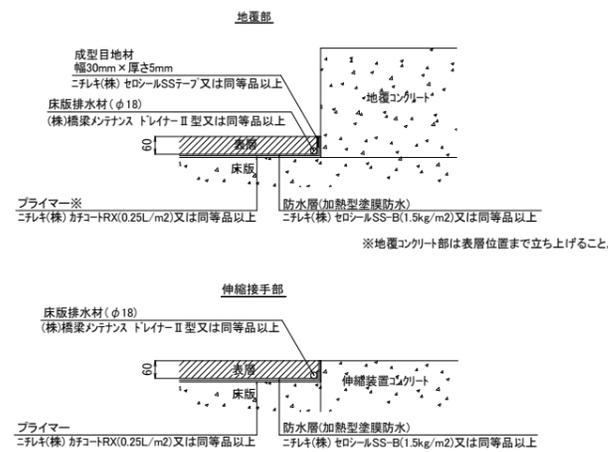
# 舗装工詳細図

平面図 S=1:100

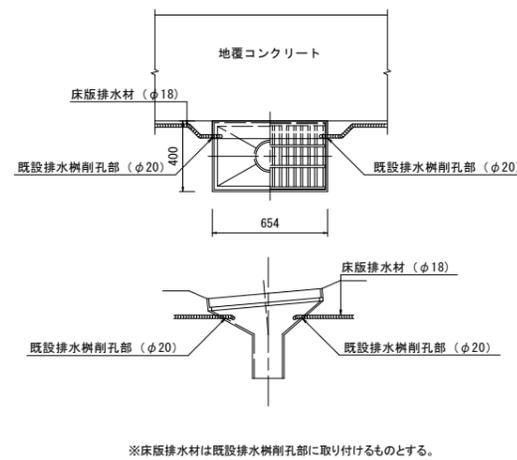


注釈：DR：排水樹

端部防水処理工詳細図 S=1:10

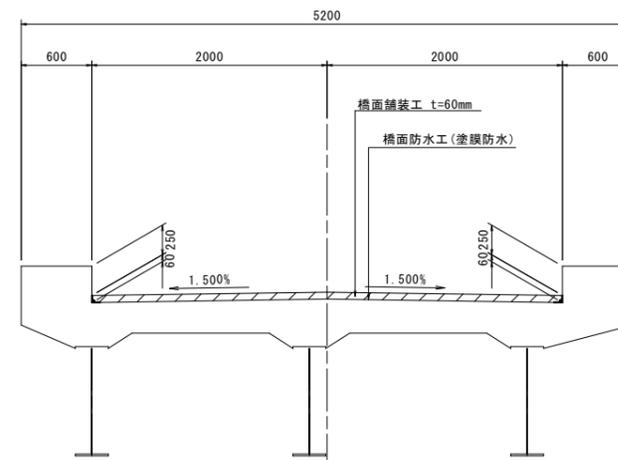


橋梁排水樹 S=1:20

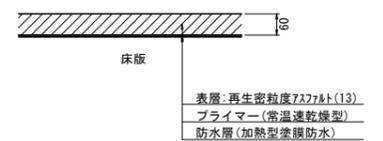


※床版排水材は既設排水樹削孔部に取り付けるものとする。

標準断面図 S=1:30



橋面舗装打換え工 S=1:10



- ・ 事前に面積等、再計測確認のうえ、舗装打換え工事を行うこと。
- ・ 既設舗装版は、路面切削にて撤去すること。
- ・ 切削時に床版を損傷させないように、事前に舗装版厚を確認すること。

橋面防水工

名称	規格	単位	数量	備考
床版排水材 (ドレーン材数量)	ステンレス製排水用導水管 φ18	m	47.4	(株)橋梁メンテナンス ドレーンII型又は同等品以上
成形目地材 (目地材数量)	7.27t舗装用成形目地材 幅30mm×厚さ5mm	m	46.1	ニレキ(株)セロニールSS-B又は同等品以上

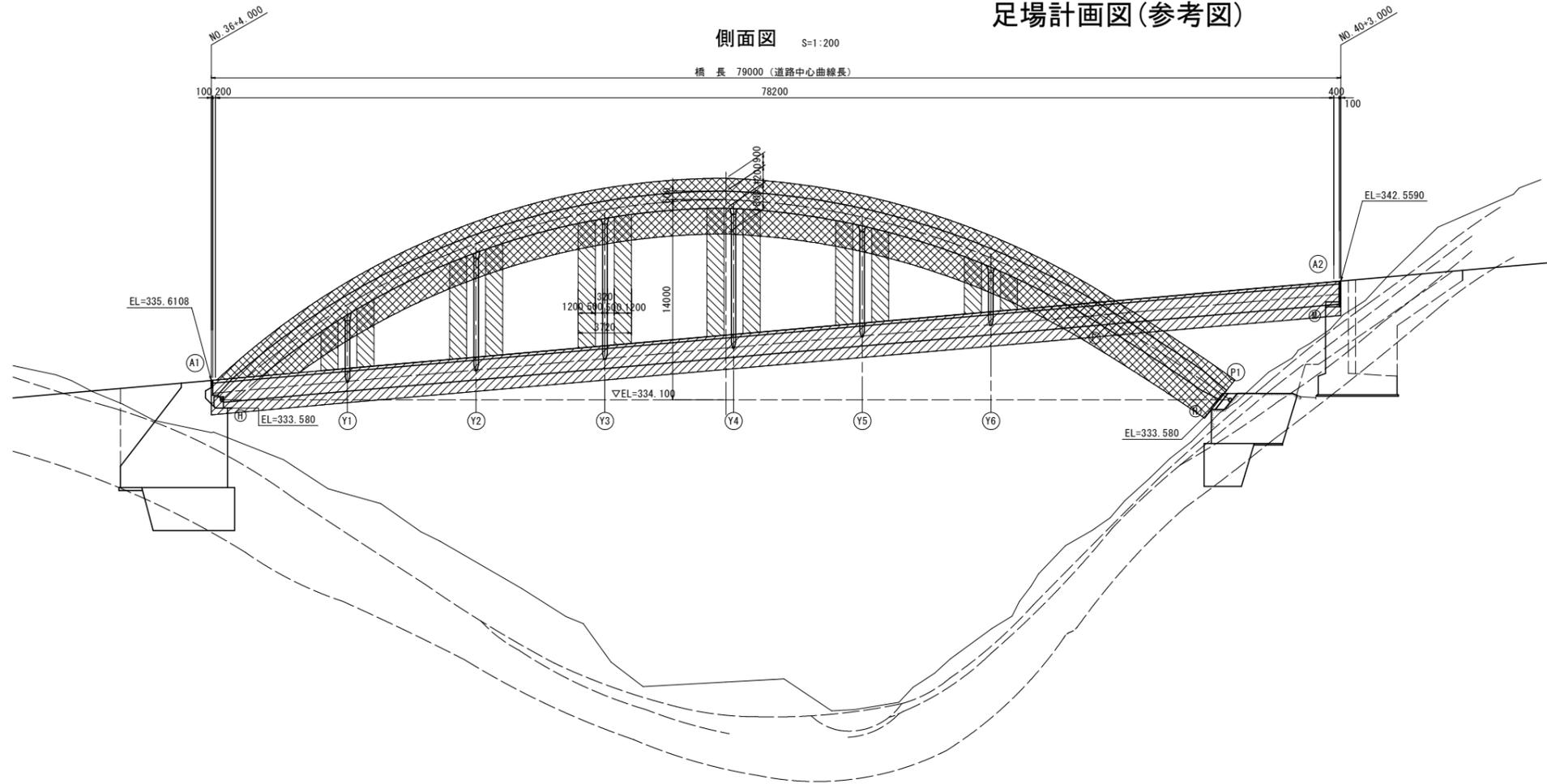
- ・ 橋面防水は、ニレキ株式会社製「セロニールSS-B」又は同等品以上とする。
- ・ 成形目地材は、ニレキ株式会社製「セロニールSS-B」又は同等品以上とする。
- ・ ステンレス製排水用導水管は、(株)橋梁メンテナンス ドレーンII型又は同等品以上とする。
- ・ プライマーは、ニレキ株式会社製「カコートRX」又は同等品以上とする。

- 注記
1. 各寸法値は施工前に確認すること。
  2. 舗装撤去には路面掘削機を用いる(想定)。
  3. 路面掘削機の運転にはセミトラクターを用いる(想定)。
  4. 搬送機には10tダンプを用いる(想定)。
  5. 舗装打換えにはアスファルトフィニッシャー、振動ローラ、タイヤローラ、小型重機等運搬車両を用いる(想定)。
  6. 導水パイプの延長は排水樹の中心間距離から0.1m差し引いた値とした。
  7. 既設スラブドレーンの転用が可能であると想定し、新設でスラブドレーンを設けない計画とした。既設スラブドレーン位置が確認できない場合は、協議を行うこと。

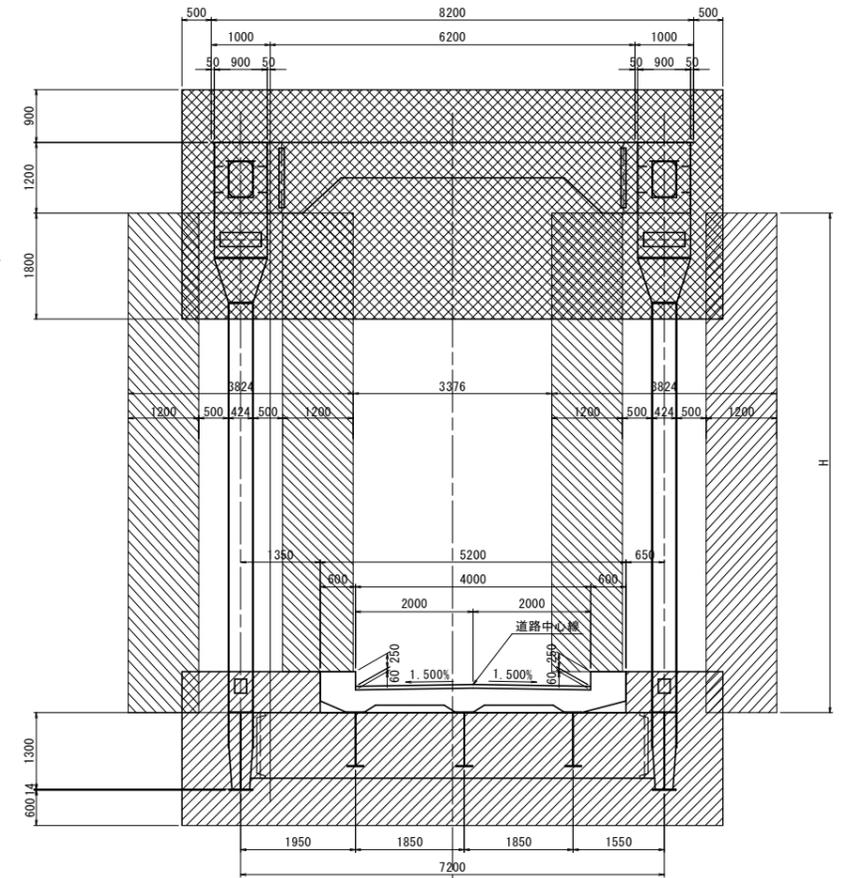
工事名	京都市東部山間立地処分地橋梁補修工事 (管理道路4号橋)		
工事場所	京都市伏見区醍醐院蔵谷1番104他地内		
図面名	舗装工詳細図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	12 / 14
京都市環境政策局埋立事業管理事務所			

# 足場計画図(参考図)

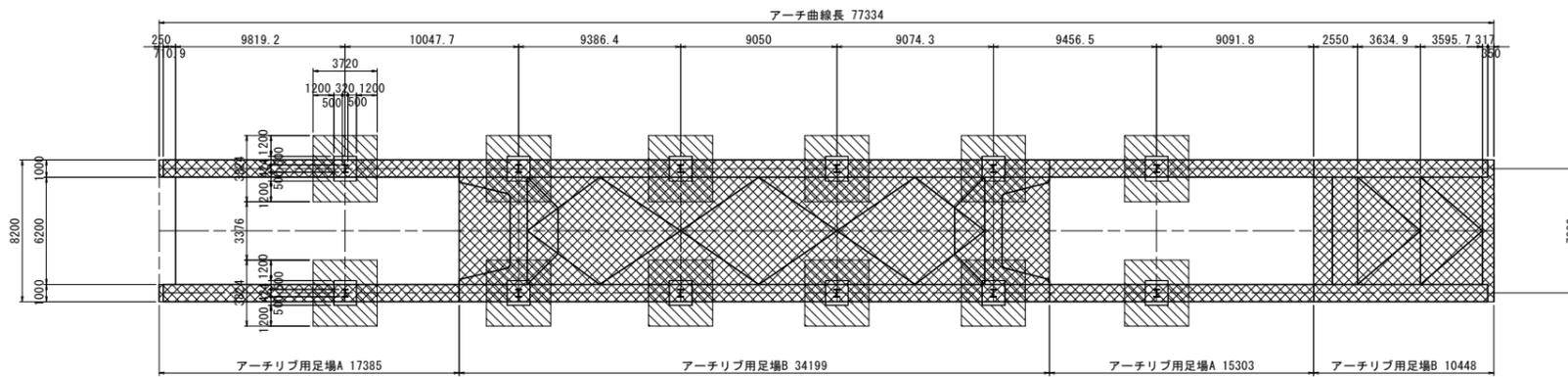
側面図 S=1:200



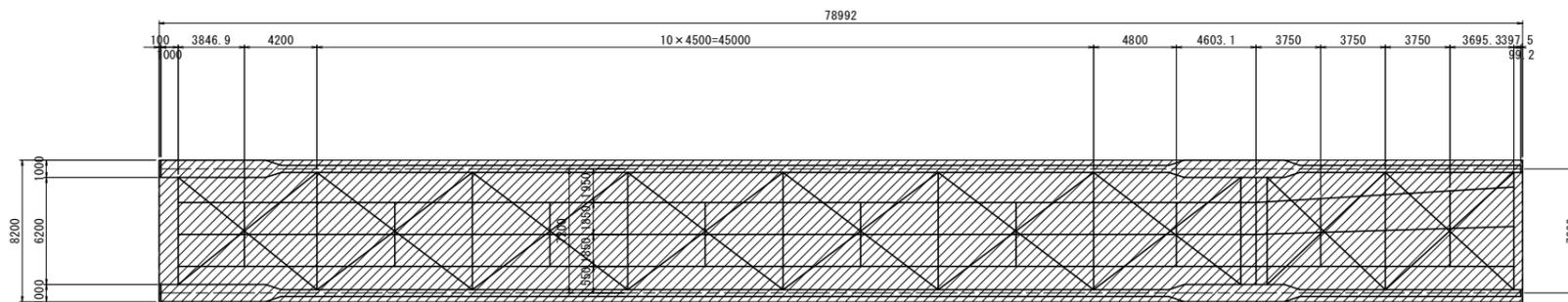
主構造断面図 S=1:60



アーチ平面図 S=1:200



床組平面図 S=1:200



	H
Y1	3521
Y2	7223
Y3	9081
Y4	9091
Y5	7253
Y6	3567

足場工 数量表

名称	規格	単位	数量	備考
足場工	吊足場(タイプA3)床面シート張防護	m <sup>2</sup>	648	
	吊足場(タイプB)朝顔、板張防護、シート張防護	m <sup>2</sup>	648	
	プラスト養生シート(吊足場用)	m <sup>2</sup>	648	
	アーチリブ用足場(板張防護、シート防護含む)	m <sup>2</sup>	431	
	プラスト養生シート(アーチリブ用足場用)	m <sup>2</sup>	431	
	プラスト養生シート(アーチリブ用足場天井)(板張防護、シート防護含む)	m <sup>2</sup>	431	
	吊り材用足場(板張防護、シート防護、プラスト養生シート含む)	掛m <sup>2</sup>	818	

足場の供用期間は5.0箇月を想定している。

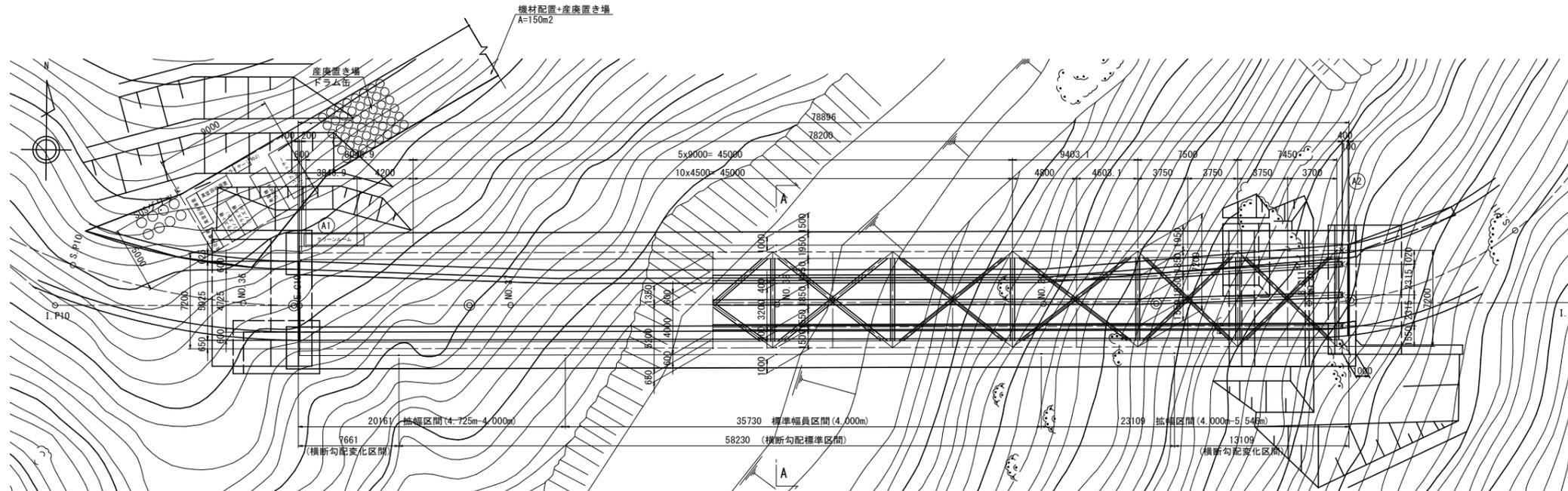
- 吊足場(タイプA3)
- アーチリブ用足場
- 吊り材用足場

※ アーチリブ用足場及び吊り材用足場は吊り足場(タイプA3)に荷重がからないようにすること。

工事名	京都市東部山間埋立処分地橋梁補修工事(管理道路4号橋)		
工事場所	京都市伏見区醍醐陀羅谷1番104他地内		
図面名	足場計画図(参考図)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	13 / 14
京都市環境政策局埋立事業管理事務所			

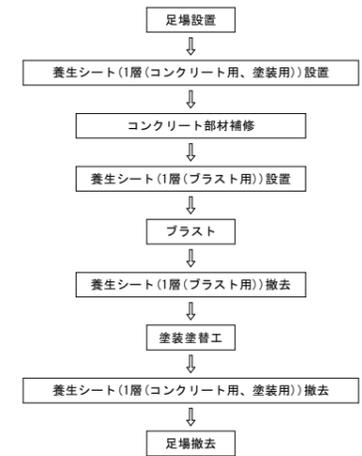
# 施工計画図(参考図)

平面図 S=1:200



- ※1 地形図と現況の地形が異なっている。
- ※2 施工の際は、現地状況を確認のうえ、施工計画の見直しを行うこと。
- ※3 機材配置の他に、プラストによる産廃の置き場所が必要となる。
- ※4 機材配置は想定のため、現地状況を確認のうえ施工すること。

## 施工フロー



暴露対策工数量表

名称	単位	数量	備考
負圧集塵機	鉛対応集塵装置	台・月	2.5
	鉛対応集塵機用カートリッジフィルタ、パッキン	本	16
エアシャワー	エアシャワー	台・月	2.5
	エアシャワー用1次フィルタ	枚	5
	エアシャワー用HEPAフィルタ	枚	4
クリーンルーム	クリーンルーム	箇所	1
真空掃除機	真空掃除機	月	2.5
	真空掃除機用1次フィルタ	枚	5
	真空掃除機用2次フィルタ	枚	4
	真空掃除機用HEPAフィルタ	個	1

安全費(鉛対応安全衛生保護具)数量表

名称	単位	数量	備考
鉛対応安全衛生保護具	エコクリーン クールスーツ(上)	着	288
	エコクリーン クールスーツ(下)	着	288
	送気ユニット	組	24
	定置式ろ過筒(4人用)	台	6
	エアラインホース φ9 L=20m	本	24
	エアラインホース φ19 L=25m 定置式ろ過筒6組分	本	6
	防じんマスク	個	24
	防じんマスク用フィルタ(交換用含む)	個	432
	防護手袋	組	1728
	防護長靴	足	24

工事名	京都市東部山間埋立処分地橋梁補修工事(管理道路4号橋)		
工事場所	京都市伏見区醍醐陀羅谷1番104他地内		
図面名	施工計画図(参考図)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	14 / 14
京都市環境政策局埋立事業管理事務所			